

現場のムダを 利益に変える AI活用セミナー

参加無料

定員 **50** 名

現地:30名
オンライン:20名

紙・Excel・日報の情報を『見える化』し、ムダ削除・生産性向上・利益改善へ

企業には、日報、報告書、問い合わせ履歴、営業記録、点検表、会議メモなど、日々多くの業務情報が残されています。しかし、その多くは紙やExcel、PDF、メールなどに分散し、十分に活用されていないのが現状です。本セミナーでは、無料で使える生成AIを活用した業務の見える化、課題整理、改善案の作成方法をわかりやすく解説します。また、生成AIに投げ込むための業務データを既存業務を変えず、従業員の負担を増やすことなく蓄積する方法もご紹介します。生成AIを使って業務改善を進めたいが、何から始めればよいかわからない企業の皆様に向けた、わかりやすくゼロからはじめられる実践型セミナーです。

プログラム

第1部

AI時代、会社の未来は
「日々のデータ」で変わる

登壇者

AI導入・業務効率化
エキスパート
株式会社シャール
代表取締役
小坂 太郎



第2部

紙・Excel・PDFに眠る
情報をAIに使えるデータへ

登壇者

codeless technology
株式会社
代表取締役/CEO
猿谷 吉行 氏



第3部

「DXの導入事例+AIによるデータ活用」実践編

自社の帳票をその場で改善
持参書類で体験する「そのままDX」と生成AI分析



10.6 2026

TUE

14:00～16:00 (受付開始 13:30～)

会場 西尾商工会議所会館 2階 201・202会議所
〒445-8505 愛知県西尾市寄住町若宮97番地

現場のムダを利益に変える AI活用セミナー

紙・Excel・日報の情報を『見える化』し、
ムダ削除・生産性向上・利益改善へ

参加無料
定員 **50** 名
現地: 30名
オンライン: 20名

生成AIは文章を作るだけではありません。日報、点検表、作業報告、営業記録、クレーム情報などを整理・要約・分類し、自社の課題や改善の優先順位を見つける力になります。

講演概要

第1部

AI時代、会社の未来は「日々のデータ」で変わる

生成AIによって、会社の現状整理、課題抽出、改善案の作成が簡単になりました。一方で、AIに読み込ませる情報がなければ、自社に合った答えは出せません。AI時代に企業が準備すべきことを、経営者の視点で解説します。

登壇者

AI導入・業務効率化エキスパート
株式会社シャール
代表取締役
小坂 太郎 氏



第2部

紙・Excel・PDFに眠る情報をAIに使えるデータへ

日報、点検表、作業報告書、営業日報、クレーム記録、見積履歴など、企業には多くの情報が日々発生しています。「そのままDX」を使って、日々の業務工程を変えることなくAIに活用できるようにする方法をご紹介します。

登壇者

codeless technology株式会社
代表取締役 / CEO
猿谷 吉行 氏



第3部

「DXの導入事例+AIによるデータ活用」実践編

自社の帳票をその場で改善 —— 持参書類で体験する 「そのままDX」と生成AI分析

当日、御社の日報・点検表・報告書を1枚お持ちください。その帳票を題材に、データ活用の第一歩をこの場で実演。普段お使いの帳票が「そのままDX」でどう電子化され、蓄積されたデータが生成AIによってどう分析されるのか。一般的な事例紹介ではなく、参加者ご自身の書類を使って、目の前で形にします。

お持ちいただきたい書類

作業日報 / 点検表・チェックシート / 営業日報・訪問記録 / 作業報告書 / クレーム・問い合わせ記録 / 見積・受注管理表 など(いずれか1枚で結構です)

※ 紙・Excel・PDF、どの形式でも構いません。手書きのままで結構です。きれいに整える必要はありません。社外秘の情報は、氏名・金額などを塗りつぶした状態でお持ちください。お持ちでない場合も、サンプル帳票をご用意していますので安心ください。

セミナー終了後は「質疑応答・交流会」を開催します。講演内容に関するご質問にお答えするほか、デモやトライアルのご利用方法をご紹介します。さらに、ご参加者同士や講師との意見交換を通じて、生成AIの活用について情報交換いただける場をご用意しています。

セミナーのポイント

1 無料AIで業務の整理・見える化ができる

生成AIは、文章作成だけの道具ではありません。日報、議事録、営業記録、クレーム情報、作業報告などを読み込ませることで、要約、分類、課題抽出、改善案の作成に活用できます。

2 日々の業務の中で、現状が見える状態にする

新しい取り組みには時間がかかります。まずは、日々の業務を変えずに日々の業務データをもとに、自社の強み、課題、集中すべき領域を確認できる状態をつくるのが重要です。

3 AI活用の前提は「使えるデータ」の蓄積

紙やExcelに情報が残っていても、探せない、集計できない、比較できない状態では、AIに活用しにくい情報のままです。AIに渡せるデータを日々の業務の中で蓄積することが、これからの企業の競争力になります。

4 高額なシステム導入の前に、できることから始める

複雑で高コストなシステム導入から始める必要はありません。まずは、いつも使っている1枚の書類、1つの日報、1つの点検表から始めることができます。

5 業務はそのまま、データは会社の資産に

現場の業務を大きく変えると、入力が見えなくなることがあります。重要なのは、今の業務の流れをできるだけ変えずに、日々の情報を会社の資産として蓄積することです。

このような方におすすめ

- ・ 生成AIに興味はあるが、何から始めればよいかわからない
- ・ 生成AIを業務で使ってみたいが、具体的な活用方法がわからない
- ・ 自社の業務を見える化したい
- ・ 会社の強みや課題を整理したい
- ・ 日報、点検表、報告書をもっと活用したい
- ・ 紙やExcelに情報が散らばっている

- ・ 業務改善を進めたいが、現状把握に時間がかかる
- ・ 営業活動や顧客対応を整理したい
- ・ 製造現場や現場作業の記録を活用したい
- ・ IT担当者がいないため、DXが進まない
- ・ 高額なシステム導入の前に、できることから始めたい
- ・ 自社の稼ぐ力を高めたい

お申し込み方法

下記URLまたは、右記QRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/U7rLJQGrzjmuy3Vg7> ▶



お申込み締切

9月30日(水) 18時まで

※ 定員になり次第終了になります

お問い合わせ

中小企業相談所 (担当: 蜂谷・坂井)

TEL 0563-56-5151

FAX 0563-57-0002

MAIL hachiya@nishio.or.jp

※ オンライン参加をご希望の方には、お申し込み後に参加用URLをメールでご案内いたします。 ※ セミナー終了後、主催者および講師からアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。